



## 県議会だより

Ver. 26 (平成27年1月30日発行)



新年を迎え、皆様には変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年暮れは、突然の衆議院の解散総選挙が執り行われたり、大雪に見舞われたりで慌ただしい年の瀬となりました。

衆議院議員選挙結果を見ますと、国民の多くは政治の安定と景気回復を望んだようです。特に、安倍政権の成長戦略「アベノミックス」の成果が、一部の企業や富裕層だけの恩恵でなく、地方にも及ぶことを期待しての審判だったと思います。

我が国には、経済対策ばかりでなく、人口減少問題や地方創生、緊張感高まる近隣諸国との外交問題、エネルギー問題や頻発しています自然災害対策などなど、喫緊の諸課題が山積しています。私が政府に望むことは、未来ある子供達や介護支援の必要な方々が、安心して暮らせる社会保障の実現に全力で取り組んでほしいことです。

さて今春は、妙高市を含む上越地域にとりましては、特別な年となります。来る3月14日には「北陸新幹線」が開業です。また、3月末までには、上信越高原国立公園から、妙高戸隠地域が32番目の国立公園として『妙高戸隠連山国立公園』が分離独立する他、県立武道館も建設に向けて着々と進みます。この新たなビックチャンス地域発展に結び付けていくには、官民挙げて知恵を出し合いながら取り組んでいく必要があり、私も県議の立場で協力していきたいと思っています。

それでは、12月定例会での審議結果を報告いたします。

泉田知事は冒頭、11月22日発生の長野県北部地震（震度6弱）で被災された方々へのお見舞いと、知事就任直前に発生した中越地震（10周年を迎えた）について、自然災害に対する安全・安心など備えと対策について所感を述べました。

本県の諸課題であります消費税増税後の景気低迷、人口減少問題やエネルギー問題、北陸新幹線開業への期待と対策、地域医療の対策や佐渡金銀山の世界遺産登録への意気込みなどの提案説明がなされました。私を含め多くの議員も、これらに関連した質問で知事の政治姿勢を質しました。

平成26年度補正予算では、消費税増税分を活用した医療・介護サービスの提供体制改革費、職員給与費の過不足分および給与改定費、県立武道館（仮称）設計調査費など、総額3,592百万円を含む35議案について審議され、全議案可決または承認されました。

なお、詳細は議会HPを参照ください。

干支の羊は「群れる（家族や地域社会も）」意味があるそうです。まだまだ寒い日が続いていますが、皆様には、くれぐれも健康にご留意されますようご祈念申し上げまして、議会報告とさせていただきます。

審議の結果

### 新潟県議会 12月定例会より

新潟県議会 HP : <http://www.pref.niigata.lg.jp/gikai/>

【会期:12月 2日~12月18日(17日間)】

#### <提案された議案の審議結果>

- ◎ 提案された全議案が可決または承認されました。
  - ◆平成26年度一般会計補正予算、各特別会計、企業会計補正予算など6議案
  - ◆条例制定、条例の一部改正など、19議案
  - ◆事件議決、監査委員選任など、10議案

#### <請願・陳情の審議結果>

- ◎ 採択された請願
  - ◆新潟県私立中学高等学校教育への助成の充実に関する請願
- ◎ 継続となった請願
  - ◆「新潟県非核平和宣言」に関する請願
  - ◆子供たちにゆきとどいた教育を！30人以下学級の実現、教職員定数の増加及び教育予算の増額を求める意見書提出などに関する請願
  - ◆すべての子どもたちに、ゆきとどいた教育を進めることを求める意見書提出等に関する請願
  - ◆私立学校に通う子どもたちにゆきとどいた教育を求める意見書提出等に関する請願

#### ◎ 不採択となった陳情

- ◆悪性腫瘍、通称（がん）の名称変更を求める意見書提出に関する陳情
  - ◆CO2吸収削減“緑の地球再生”「国際バイオマス連合」創設等に関する陳情
- ◎ 継続中の請願、陳情は全て継続

#### <議員発議の審査結果>

- ◎ 採択された発議
  - ・新潟県特定野生鳥獣の管理及び有効活用の推進に関する条例
  - ・拉致事件の早期解決を求める意見書
  - ・教育環境の充実・強化を求める意見書
  - ・安全で安心な国民医療を守ることを求める意見書
  - ・中小企業に配慮した税制改正を求める意見書
  - ・地域の社会資本整備の促進を求める意見書
- ◎ 不採択となった発議
  - ・新潟県議会議員の選挙における選挙広報の発行に関する条例
  - ・年金積立金の安全な運用を求める意見書

## 12月定例会で泉田知事への私の一般質問を要約してご紹介します。

【質問】 県政運営における重要課題として、新年度予算では、将来の人口増加や地域産業の育成、個を伸ばす人づくりの推進に向けた取組の強化など、未来への投資を積極的に行うとしているが、どのような取組を考えているのか伺う。

【回答】 未来への投資は中長期的なものを含め、将来の県の発展に寄与するものを「投資」と位置付け、人口増や地域産業の育成、人づくりの推進などに重点を置いて予算編成していくが、具体的には今後の編成過程で決定していく。

【質問】 国は、50年度に1億人程度の人口を維持するために、「若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現」、「東京一極集中の歯止め」、「地域の特性に即した地域課題の解決」の3つを基本的視点とし、人口減少問題に取り組むとしているが、国に対し何を期待するか伺う。

【回答】 国の取り組みについて、税や年金、教育などを含む大胆な制度改革が必要。このような改革の権限を持つ国において、実効性ある政策の実施にスピード感を持って取り組んでほしい。

【質問】 若者世代が安心して子どもを産み育てるには、子育ての負担や不安を軽減するとともに、子育ての経済的負担を減らすことが重要となる。そのためには、職場や地域の協力・理解に加え、保育の充実や教育費負担の軽減など総合的な支援が必要と考えるが県の子育て支援のあり方について伺う。

【回答】 子育てについては、総合的な支援が必要と考える。人口問題対策会議では専門家の意見を踏まえ、「時間的ゆとり」と「経済的ゆとり」の同時達成に向けて、具体的施策を着実に展開していく。

【質問】 近年、異常気象が常態化しており、今年に入っても、記録的なスーパー台風や、広島市での土砂災害など各地で災害が発生した。広島市での事案では、災害の発生が夜間であったことや、激しい雨音で情報伝達に重大な支障が出たことなどが被害拡大の要因として指摘されている。近年の異常気象のように状況が刻々と変化する中で、住民に的確に情報伝達していく必要があると考えるが、所見を伺うとともに、県としてどのように取り組んでいくのか伺う。

【回答】 災害時における実効性ある住民避難の確保は、空振り恐れず、早期に住民に対し避難行動を呼び掛けることが需要と認識している。中央防災会議や全国知事会の場で、土砂災害警戒情報に着目した避難勧告の発令などについて提案し、内閣府の避難勧告などガイドラインの見直しにつながった。なお、防災局長より補足答弁がありました。（県として、気象情報や土砂災害警戒情報など、市町村が避難勧告などの発令を行う判断の基となる情報を、速やかに伝達するとともに、緊急速報メールの活用を検討するなど、市町村が行う住民への情報伝達を支援していく。）

【質問】 11月22日夜間に発生した長野県北部を震源とする地震では震度6弱を記録し、白馬村を中心に家屋の倒壊などの被害が発生したが、幸いにして死者を出すことはなかった。その大きな要因は、日常生活で地域住民の絆があったことだと指摘されている。プライバシー保護の問題はあるが、災害発生時にどうしたら地域力による互助・共助の力が発揮できるのか、真剣に検討すべきと考えるが所見を伺う。

【回答】 災害時の互助・共助の力を発揮するためには、日頃から防災について、各地域で話し合い、自主防災組織などの体制づくりを進めていくことが重要。県でも引き続き、市町村とともに地域の主体的な互助・共助の仕組みづくりが進むよう支援していく。

【質問】 北陸新幹線の速達タイプの列車が県内駅に停車しないことが決まったが、現在の在来線の乗客数をみると、JRの経営判断としてはやむを得ない面もあると思われる。むしろ、今後いかに乗降客を増やすかが課題であり、上越地域のおいしい食べ物や温泉など自然の恵みや、優れた文化遺産などを活かした観光資源の発掘や受入体制の整備など、訪れる人たちが満足できる環境を整える必要があると考えるが所見を伺う。

【回答】 上越地域は、豊かな自然や温泉地をはじめ、多彩な観光資源に恵まれている。より多くの方から県内駅に降りていただけるよう、県でも今後さらに、上越地域をはじめ沿線地域の魅力向上、受け入れ態勢整備への支援を行い、魅力づくりに取り組んでいく。



【質問】 長野・新潟・群馬の3県にまたがる上信越高原国立公園から妙高・戸隠地域が分離され、来年3月に新たな国立公園に指定される見込みとなっている。同地域については、温泉やスキー、高原における自然探勝、登山などの観光地となっているが、自然保護と利用をいかに調和していくかが課題であると考えますが、今後の県の対応について伺う。

【回答】 県の対応として、地域内の貴重な自然の保護と観光地としての利用のバランスを図っていくことが重要と考える。今後、設置が予定されている国立公園連絡協議会において、国、市町村、関係団体などと連携し、より多くの方々から訪れていただく中で、自然環境の保護とふれあいの場としての利用を進めていきたい。

【質問】 妙高・戸隠地域の新たな国立公園の誕生は、北陸新幹線開業とも時期を同じくするものである。国立公園は自然環境やその景観などから、対外的な評価が得られるものと考えられる。妙高地域は、特に近年は多くの外国人スキーヤーが訪れている。ホワイトシーズンのスキー観光に加え、グリーンシーズンに景勝地などの自然散策、登山、温泉などの魅力を広く発信することで、幅広い誘客の可能性もあり、これを機会に国内外に売り込むべきと考えるが所見を伺う。

【回答】 新公園誕生を一つの契機として、地元と連携しながら魅力を発信してまいりたい。なお、産業観光労働部長より補足答弁がありました。（来年3月の北陸新幹線開業により、利便性の高まる首都圏、関西圏からの誘客を促進するため、情報発信拠点も活用しながら、新国立公園をはじめ、本県観光の魅力を発信していく。また、自然景観、花や紅葉などの土気的美しさに興味のある台湾、中国、香港の旅行エージェント招聘や、トレッキングなど体験型旅行の魅力を韓国メディアで紹介するなど、外国人の湯客活動にも取り組んでいく。

なお、「若者の定住促進と雇用機会の充実」「U・Iターンの促進とインターネット整備による空き家活用」「少子化の中、虐待などで幼子の命を絶つ痛ましい事故防止策」「住宅の屋根雪対策条例施行後の状況と問題点」「北陸新幹線開業時の各種イベントと外国人への情報発信」「県立武道館は全国大会や国際大会可能な規模に」「エボラ出血熱やデング熱、インフルエンザなど感染症対策」などについて質問しましたが、具体的な内容のため、部局長や教育長答弁となりましたので、掲載を割愛させていただきます。

## ホームページをリニューアルしました！

県議会での活動、地域での活動等が詳しく掲載されています。是非、ご覧下さい。



URL⇒ <http://yokoo-yukihide.jp/>

新潟県議会議員 **横尾ゆきひで** 事務所  
事務所：妙高市朝日町 1-7-23  
電話：0255(70)5211 FAX：0255(70)5212